

経営のヒント107 思考のプロセスをチェックする

考える前に考えるための仕組みを持つ！

前回の続きです。

「メタ思考」するには、「仕組み」が必要なんです！

つまりは、考える前に「考えるための仕組み」を持つことが重要なんです。

思考の迷宮に陥らないためのコツを紹介します。

是非とも、実践して欲しいと思っています。

思考のプロセスをチェックするような「仕組み」を考えましょう！

チェックポイント

1. 目的に沿っているかどうか？

2. 今、どの段階の思考のプロセスにいるのか？

問題解決のための思考のプロセスは、通常下記ようになります。

「目に見える問題点の把握」 「問題点の掘り下げ」 「真の問題点の特定」
「候補となる課題の設定」 「課題の選択、具体化」 「課題設定」

今、自分が考えていることがどのプロセスに該当するのか、本当に次のステップに進んでいいのかということ「チェックする自分」を使って常に確認する。

これが機能すれば必要なステップを飛ばしたり、逆戻りしたりせずに済む。

もちろん会議の場などでも、参加者全員が今議論していることが、どのプロセスにあるのかを常に確認することによって、効果的で効率的な議論が期待出来ます。

この思考のステップを誰でも「見える化」して、全員が共有する「仕組み」を創りましょう！

これを「拡散思考」と「収束思考」を繰り返して、議論をうまくリードして下さい。

この時、注意点としては、

「拡散思考」の時は、参加者全員が拡散思考をすること

つまり、アイデア出し、議論を広げることに集中することが重要です。

同じように「収束思考」の時には、全員が意見を絞り込みすること。

このルールを守らないと、思考のプロセスの各ステップが機能しなくなります。

組織や会社でこれをするには、司会進行役（ファシリテーター）がいれば、参加者全員が議論に集中でき、効果的かつ効率的な議論が期待できます。

考え方のスタイルには「仮説検証型」と「ゼロベース型」があります。

今までは「仮説検証型」で通用してきたが、これからは「ゼロベース型」の思考スタイルが必要な時代になっています。

...これは又の機会に！

<経営のヒント>

考える前に「考えるための仕組みを持つ」・・・つまりは準備ですね。

そして、都度、計画に対して、どの段階に来ているのか？チェックすることなんです。

つまり 思考もPlan(計画)- Do(行動)- Check(確認)なんです！

それを、誰でも「見える」ようにすることが重要なんです！